

コミュニケーション

英語&日本語の
コミュニケーション能力を高め、
多文化共生社会の担い手に。

3つの学びのコンセプト

- 1** 英語の四技能、「話す」「聞く」「読む」「書く」を高め、異文化交流に貢献。

英語の四技能に習熟し、自分の属する社会・文化を離れても、コミュニケーション技能を駆使し、円滑な人間関係を築ける力を養います。また、世界の多様な文化を理解し、異文化交流ができる力も育てます。

Page **>> 52**
- 2** 日本語の四技能を磨き、グローバルな社会で活躍する。

グローバル化された現代社会で活躍するには、洗練された日本語運用能力を身に付けることが不可欠です。実践的な授業を通して、日本語の四技能の能力を高め、多文化共生社会の担い手を目指します。

Page **>> 54**
- 3** 視覚コミュニケーションを学び、社会で活躍できる力をつける。

目で見えるもので意味を伝える「視覚コミュニケーション」を学びます。日本や世界の文化を具体的に知ることができ、教養ある人材を育成します。

Page **>> 55**

卒業論文・卒業研究

- モノ文化のコミュニケーション
- SDGsの目標達成のために求められる新しいコミュニケーションスタイルと価値観の多様化に関する研究
- During an emergency, how is information communicated to non-Japanese-speaking visitors?
- “正しい”日本語と“伝わる”日本語
- 漫才のネタと語用論
- 意識することで英語の誤りを減らすことができるのか?
- イギリス人の価値観
- 日本の甲冑
- ピクトグラムと視覚コミュニケーション (2020年度テーマ例/一部抜粋)

コミュニケーション文化学科の進路

就職率 **100%**

卒業生数 93名
就職希望者数 83名
就職者数 83名
進学者 4名 (2020年5月1日現在)

過去3年間の主な就職先
日本航空(株)/(株)スターフライヤー/ANAテレマート(株)/(株)JALスカイ/(株)JALグランドサービス/東日本旅客鉄道(株)/(株)JR東日本ステーションサービス/みずほフィナンシャルグループ/(株)三菱UFJ銀行/あいおいニッセイ同和損害保険(株)/(株)コーセー/資生堂ジャパン(株)/(株)USEN/トランスコスモス(株)/アニヴェルセル(株)/(株)テイクアンドグヴ・ニュース/グランドニッコー東京台場/三菱食品(株)/蓮田市役所

文化学科

学びの分野

- 日本語コミュニケーション
- 英語コミュニケーション
- 多文化社会
- アナウンス、インタビュー
- 異文化理解
- ビジュアル・コミュニケーション
- 色彩、シンボル、紋章
- 手話、点字

コミュニケーション文化学科専門科目一覧

専門科目は1・2年次で20単位以上、3・4年次で46単位以上の計66単位以上を取得する必要がある。
※単位は各科目に配分されていて、半年ないしは1年の履修が認められれば、1単位または2単位を取得できる。

1・2年次履修科目

- 総論**
右に記載した各科目は、履修すれば2単位が取得できる科目です。1・2年次で6単位以上を取得してください。
- コミュニケーション文化概論
 - コミュニケーションの倫理
 - 言語コミュニケーション論
 - 非言語コミュニケーション論
 - 日本語コミュニケーション論
 - 英語コミュニケーション論
 - 異文化コミュニケーション論
 - 多文化社会論
 - マスコミ論
 - 放送文化史

- 研究入門**
右に記載したA～Fは、履修すれば2単位が取得できる科目です。2年次で4単位以上を取得してください。
- コミュニケーション文化学研究入門A～F

- 基礎演習**
右に記載した各科目は1年次に必ず履修してください。
- 日本語コミュニケーションスキル(会話)
 - 英語コミュニケーションスキル(会話)

- 文学部 共通専門科目**
右に記載した【講義】の各科目は、履修すれば2単位が取得できる科目です。【実習】の各科目は、履修すれば1単位が取得できる科目です。ただし、全て選択科目で、1・2年次に自由に履修できますが、必ず履修する必要はありません。
- 【講義】
 - 英語実用文法
 - レトリック概論
 - 言語学概論
 - 芸術論
 - 造形論
 - 色彩論
 - 装いの心理学
 - 化粧の心理学
 - 図書館概論
 - 【実習】
 - 芸術芸能実習 茶道/華道/香道

3・4年次履修科目

- 各論**
右に記載した各科目は、履修すれば2単位が取得できる科目です。3・4年次で18単位以上を取得してください。
- 【コミュニケーション理論関係群】
 - 語用論
 - 社会言語学
 - メディア言語論
 - 言語理解論
 - 聴覚コミュニケーション論
 - 視覚コミュニケーション論
 - 【日本語コミュニケーション関係群】
 - 対人コミュニケーション論
 - 現代コミュニケーション論
 - コミュニケーション障害論
 - シンボル表現論
 - 世代別コミュニケーション論
 - ジェンダー・コミュニケーション論
 - 【英語コミュニケーション関係群】
 - 国際コミュニケーション論
 - 国際メディア論
 - 異文化研究
 - 言語社会研究(欧米)
 - 言語社会研究(アジア)
 - 世界若者事情
 - 世界英語事情
 - 世界教育事情
 - 世界マスコミ事情

- 特殊講義**
右に記載した各科目は、履修すれば2単位が取得できる科目です。3・4年次で2単位以上を取得してください。
- コミュニケーション文化学特殊講義 コミュニケーション論/日本語コミュニケーション/英語コミュニケーション

- 特殊演習**
右に記載した各科目は、履修すれば1単位が取得できる科目です。3・4年次で4単位以上を取得してください。
- 【日本語コミュニケーション関係群】
 - 実践日本語 文章表現/音声表現/発声法/敬語/多読/場面別運用/グループディスカッション/コミュニケーション調査法
 - 【英語コミュニケーション関係群】
 - 実践英語 インターネット英語/アニメ・マンガ英語/コマーシャル英語/映画英語/歌詞英語/料理・ファッション英語/スポーツ英語/多読

- 実習**
右に記載した各科目は、履修すれば1単位が取得できる科目です。3・4年次で2単位以上を取得してください。
- 手話
 - 点字
 - アナウンス
 - インタビュー
 - ナレーション
 - プレゼンテーション
 - 朗読
 - 声優

- 演習**
右に記載した「演習I」はAとBの2科目があり、3年次に必ず履修してください。「演習II」もAとBの2科目があり、4年次に必ず履修してください。
- コミュニケーション文化学演習I-II

- 卒業論文・卒業研究**
4年次に必ず履修してください。
- 卒業論文・卒業研究

- 文学部 共通 専門科目**
右に記載した【講義】の各科目は、履修すれば2単位が取得できる科目です。【演習】の科目は、履修すれば1単位が取得できる科目です。ただし、全て選択科目で、3・4年次に自由に履修できますが、必ず履修する必要はありません。
- 【講義】
 - 演劇論
 - 言語哲学
 - 朗読法
 - コミュニケーション心理学
 - 情報文化史
 - 色彩象徴論
 - 図書・図書館史
 - 【演習】
 - 情報サービス演習 A

※この教育課程表は、2021年度現在の教育課程に基づくものです。

コミュニケーション文化学科の3つの学びコンセプト

1

英語の四技能、「話す」「聞く」「読む」「書く」を高め、異文化交流に貢献。

講義 「英語コミュニケーション論」 穂苅友洋講師

日本語と英語の違いを検証しながら、言語習得を目指す。

国際的には英語でコミュニケーションを取ることが圧倒的に多いのに、英語を母語とする人口はそう多くありません。むしろ、互いに完璧ではない英語で話すので、「ネイティブにならなくては」というマインドを溶かすことも大事です。また、日英語の違いが英語習得の妨げになっている場合も。講義では日本語と英語の違いを解き明かしながら、それぞれの目的に合った学習方法を考えます。他の授業でも円滑に使える英語習得が目標です。

ゼミ(演習)

「コミュニケーション文化学演習」

「英語をどう学んだら良いか」のヒントを探るためのゼミ。日本語と英語の異なる点を発見し、グループごとにテーマを決めて調査しながら、日本人の英語の使い方を客観的に検証していきます。英語学習や留学のサポートも行います。



Tomohiro Hokari

その他の授業

- 言語コミュニケーション論
非言語コミュニケーション論

ゼミ履修生の声



コミュニケーション文化学科3年

Y.W.さん

埼玉県春日部女子高等学校出身

日本人と母語話者、両者の英語を知る。

日本人の英語と英語母語話者との違いを発見しながら、日々の英語学習に役立てています。他のゼミ生から刺激を受けることで、自分の読解力や表現力も向上。TOEIC®取得を目指します。



共著「語彙・形態素習得への新展開」(くろしお出版)

言語習得の謎を解き明かす研究

母語以外の言語を使うときの頭の状態で科学的に探る。

私の専門は「第二言語習得研究」という分野です。私たちが英語などの母語以外の言語を使うときに、私たちの頭の中で何が起きているのかを科学的に明らかにしていく分野です。意外に思われるかもしれませんが、「なぜ私たちは母語話者のようになく英語を使えないのか」「なぜたくさん練習しても間違ってしまうのか」など、誰もが感じる疑問の多くは、今でもその答えの全容は明らかになっていません。これらを科学的に解き明かし、皆さんの語学力向上に役立てられるよう研究に励んでいます。

基礎演習 「英語コミュニケーションスキル(会話)」 マクラウド・コリン助教

興味のある分野で英語に親しみ、世界へと羽ばたいて。

もし「受験用の英語」に飽き飽きしている人がいたら、まずは映画や音楽といった興味がある分野から親しんでみてください。英語を使えると、世界は大きく広がります。私の授業では日本語は一切禁止。皆の前でスピーチを行ったり、卒論は長文を英文で書くなど実践的に英語を身に付けます。また、授業では、ただ言語スキルを上げるのではなく、英国文化を取り上げて、社会で活かせる知識や技術を磨くことも目指しています。

ゼミ(演習)

「コミュニケーション文化学演習」

英語の「話す」「聞く」「読む」「書く」の四技能や言語技術に習熟、さらにコミュニケーション技能を駆使し、円滑な人間関係を主体的に築ける力を養います。また、世界の多様な文化を理解し、異文化交流に貢献できる力を育てます。



Colin Macleod

その他の授業

- 実践英語(スポーツ英語)
(インターネット英語)

ゼミ履修生の声



コミュニケーション文化学科3年

A.S.さん

東京都清瀬高等学校出身

英国文化を理解し、語学力を向上。

毎回さまざまなトピックを取り上げ、イギリスの文化について英語で学びます。自主学習に役立つツールやおすすめの映画なども紹介していただけます。将来は海外と関わる仕事に就きたいです。

その他の授業紹介

講義

「世界英語事情」

中村 聡准教授

言葉は生き物。時代に即した英語とコミュニケーションを。

英語にも世界各地にさまざまな種類があり、グローバル社会におけるコミュニケーションにおいて、その多様性を知ることが必要です。この授業は英語のみで行うため、英語の実情を英語で学ぶという、自然かつ合理的な方法で英語力を伸ばすことができます。

履修生の声

コミュニケーション文化学科4年 A.K.さん

東京都目白研心高等学校出身



中村准教授の授業では、英語がなぜ世界共通語の性格を持つようになったのか、その理由を歴史的背景と共に学びます。また、オーストラリア英語、ニュージーランド英語、インド英語など、いくつかの国々で使われている英語の特徴の理解も深めます。

コミュニケーション
文化学科の
3つの学び
コンセプト

2

日本語の四技能を磨き、
グローバルな社会で
活躍する。

≫ 講義 「異文化コミュニケーション論」 吉田さち准教授

母語以外の言語と
比較することで、
相対的な視点を持つ。

異文化の対象として隣国である韓国を取り上げ、韓国語とはどのような言語で特徴は何かを、似ている言語とされる日本語と比較しながら把握していきます。日本と韓国のコミュニケーションの比較を通じ、共通点・相違点について説明できることを学びの目標とします。日本語のコミュニケーション上の特徴を、母語以外の言語と比較し、相対的に捉え直す視点を身に付けることは、今後の異文化コミュニケーションにも役立ちます。

≫ ゼミ(演習)

「コミュニケーション文化学演習」

日本におけるコミュニケーションの多様性を明らかにし、言語・文化的背景の異なる相手とどうすれば円滑にコミュニケーションが取れるか考えます。興味に応じたテーマを設定し、調査・分析をして自分の考えを論文にまとめます。



Sachi Yoshida

その他の授業

●日本語コミュニケーション
スキル(会話)

ゼミ履修生の声



コミュニケーション
文化学科4年

K.N.さん

東京都
共栄学園高等学校出身

多文化に触れて、
他国の人と交流を。
日本と韓国ではどのようなコミュニケーションの違いがあるのかを学びたくて、ゼミに入りました。私も他国の人とうまく会話ができなくても諦めず、笑顔をやさしく、意志疎通を図れるよう心がけています。

≫ その他の授業紹介

講義

「日本語コミュニケーション論」

中西太郎准教授

「日本語」に焦点を当て、
コミュニケーションの
基本を学ぶ。

コミュニケーションは、私たちが社会生活を営む上での基盤であり、生きていく上で欠かせません。授業では日本語に焦点を当て、コミュニケーション学の基本を学びます。言語標示の特徴、近年の日本語コミュニケーションの変化などを解説していきます。

履修生の声

コミュニケーション
文化学科2年
M.K.さん

東京都
日本音楽高等学校
出身



演劇経験がある私は、アナウンスや朗読の実習など、ここでしかできない学びに興味を持って本学科を選びました。中西准教授は方言などの日本語の専門家。小論文の書き方など実践的なことも学んでいます。言葉の持つ奥深さに驚かされています。

コミュニケーション
文化学科の
3つの学び
コンセプト

3

視覚コミュニケーションを学び、
社会で活躍できる
力をつける。

≫ 講義 「コミュニケーション文化学特殊講義」マック・カレン准教授
(コミュニケーション論)

興味こそが原動力。
直感を信じて、
突き詰めてみよう。

“楽しく学ぶ”が私の学びのモットー。ただ、教わるままに覚えるのではなく、「これは面白い」「もっと理解したい」と感じたことを、自身の力で深められるようになると、研究は楽しいものになります。講義では「モノには存在するだけで何らかの意味があり、メッセージを送っている」という考え方に立ち、目に見えるモノで意味を伝える「視覚コミュニケーション」を学びます。日本の文化を具体的に理解した上で、教養ある人材を目指します。

≫ ゼミ(演習)

「コミュニケーション文化学演習」

「着物」をテーマにしており、藍染めの工房を訪問して職人の方に直接インタビューをするミニプロジェクトなども実施しています。研究にはさまざまなアプローチがあることを知って、自ら考えて勉強する楽しさを知ってほしいと思っています。



Karen Mack

その他の授業

●コミュニケーション文化学
研究入門

ゼミ履修生の声



コミュニケーション
文化学科4年

Y.T.さん

埼玉県
星野高等学校出身

表現の豊かさ
意味を深掘りする。
言葉はなくてもそこに意味がある「非言語」に惹かれました。浴衣の柄を調べる課題で、花の持つ意味や象徴性、表現の豊かさに触れることができました。自分自身を豊かにする学問です。

≫ その他の授業紹介

講義

「シンボル表現論」

吉澤京子教授

ロゴやシンボル表現から
世界を見ることで、
文化を理解する。

世界はシンボル表現にあふれています。オリンピックや万国博覧会などの国際的イベントはその代表格。授業では身近な商品のマーク、ブランドや企業ロゴに込められた意味やメッセージを読み解き、さらに異文化を正しく理解することの重要性を考えます。

履修生の声

コミュニケーション
文化学科4年
A.Y.さん

東京都
川村高等学校
出身



ロゴやマークは世界中にありますが、その背景には宗教や歴史、民俗的要素が複雑に絡み合い、日本と世界、また時代によっても見方が異なります。それを知ったことで、もともと好きな映画の見方が変わるなど、自分の視野の広がりを実感しています。